待ちに待った新しい保育所

笑顔いっぱい！エントランスホール

守口市立樟風中学校が4月に開校し、旧第二中学校跡地の一角（約1千450㎡）を活用し、市立寺方保育所と市立南保育所の統合園として、守口市立あおぞら保育所が6月1日に開所しました。

あおぞら保育所の「あおぞら」の名前には、「透き通る青空のように素直な子どもに育ってほしい」という思いが込められています。玄関奥のエントランスホールには、天井いっぱいに青空が描かれており、見上げる子どもたちから自然と笑顔があふれます。

子どもたちの様子

あおぞら保育所での新生活に、戸惑う一面もありますが、新しい園舎、教室、遊具に心ウキウキで、無邪気な笑い声が園にこだましています。

何よりも新しい友達と出会えることが、子どもたちにとって良い刺激となっています。子どもたちが、仲間への思いやりの心と主体性を高めていくことができる最適の環境として、質の向上にも努めていきます。

新しい環境の中で

将来、あおぞら保育所の隣接地には市立寺方小学校と市立南小学校の統合校の建設も予定されており、同じ敷地の中で連携を図り、保育・幼児教育・学校教育のつなぎを大切にしていきます。

また、子育て世帯のお父さん、お母さんが、子どもを連れて気軽に立ち寄れるよう、趣向を凝らした子育て支援室があり、地域の子育て支援にも力を注いでいきます。

所長からのメッセージ

市立の保育所の新築は、実に33年ぶりのことで、計画段階では、夜遅くまで各園の所長が集まり、「子どもたちが喜ぶには？」と豊富な経験を活かし知恵とアイデアを結集しました。

開所が刻一刻と近づく中、荷物の整理も大変でしたが、そんな作業をしている寺方保育所・南保育所の職員の顔には、なぜか笑顔がこぼれ、子どもたちだけでなく、職員にとっても新しい園への希望と期待に胸が膨らむ毎日でした。

こども部の職員が一丸となって青空のもと、笑顔いっぱいで遊ぶ子どもの姿を思い描きながら、開所準備を進めてきました。

そして迎えた開所の日、子どもたちの「うわーすごい！」という朝一番の声、保護者の皆さんもたくさん喜びの声をかけていただき、この期待に込められたあおぞら保育所長の職責の重さを改めて感じました。

あおぞら保育所は、家庭とのつながりを大切にし、集団生活の中で一人ひとりの子どもの個性を尊重しながら生き生きとした生活や活動を通じ、望ましい未来を創り出す力を培うことを目標としています。保育所での生活を基盤に将来隣接される小学校での学びにつなげていきます。

あおぞら保育所長　速水弘美

時日時　内内容　場場所　対対象　定定員　申申し込み　講講師　¥費用　保一時保育　持持ち物　備備考　注注意事項　提提出
配配布　問問い合わせ　TEL電話番号　フリーダイヤル　FAXファクス　メール　HPホームページ　※無料の場合は掲載を省略しています。